

第50回 日本芸術療法学会 プログラム

1日目 平成30年10月27日（土）

| | | | |
|---------------|------------------------------|------------------------|--|
| 9：20～ | 受付 | | |
| 9：50～ | 開会式 | | |
| 10：00～ | 座長 伊集院 清一 | 演題1 岡田 七歩美 | モザイクセラピー・学校モザイクI —全校生徒で作るモザイク壁画事例— |
| | | 演題2 金崎 裕美 他 | 絵画療法におけるクラフト技法の意義 —Susan Scheewe技法での検討— |
| | | 演題3 細川 美幸 | 聴覚障害児のMSSM —聴覚障害児の理解とMSSMの治療効果の検討— |
| | 座長 飯森 眞喜雄 | 演題4 岡澤 学 | 認知症患者に対するパワーポイントのアニメーションならびに オーディオ機能を使用した非薬物療法プログラム |
| | | 演題5 長岡 由紀子 | 老年女性の語りからつむがれた「教養」 |
| | | 演題6 平尾 和之 | 映画療法の可能性 |
| 12：00～ | 昼休み（理事・評議員会 会場：光暁館第1会議室） | | |
| 13：00～ | 総会 | | |
| 13：40～ | 会長講演 「私の芸術・表現療法50年」 山中 康裕 | | 座長 大森 健一 |
| 15：20～ | 座長 岩岡 眞弘 | 演題7 芹澤 一馬 他 | カラオケによって、統合失調症者の離床はなぜ促されるか |
| | | 演題8 蘭 茜 | ダウン症の子どもの社会性の発達を促す —わらべうたを用いた音楽活動を通して— |
| | 座長 阿部 恵一郎 | 演題9 佐藤 仁美 | 精神科グループ・コラージュにおける円台紙活用 |
| | | 演題10 飯田 真弓 | アートでこころの声を聴く —京都勤労者学園inエコラージュ®・ワークショップ— |
| | 座長 森谷 寛之 | 演題11 樫原 明穂 | 青年期のコラージュ制作と自己との関連 —制作前後の20答法および半構造化面接から— |
| | | 演題12 鍋島 宏之 他 | 処遇困難受刑者への集団芸術療法「アート体験」導入の検討 —薬物事犯者の臨床的变化を通して— |
| 演題13 美和 せら | | コラージュ療法を使った交流分析カウンセリング | |
| 18：00～ | 懇親会（会場：京都文教大学内 サロン・ド・パドマ） | | |